

(社) 日本コンクリート工学会四国支部

第4回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事録(案)

1. 日 時:平成24年5月10日(木) 13:30~16:45
2. 場 所:徳島大学工学部建設棟3F大セミナー室
3. 出席者:上田委員長, 牛尾, 高野, 長江, 原田, 堀井, 松田, 三浦, 横井, 横田, 横手, 渡邊, 大場, 石井, 橋本, 岩原, 塚越
4. 配布資料:
 - 4-0 (社) 日本コンクリート工学会四国支部
第4回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事次第
 - 4-1 (社) 日本コンクリート工学会四国支部
第3回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事録(案)
 - 4-2 「フライアッシュコンクリートの耐久性評価委員会」2011年度活動報告
 - 4-3 JCI 四国支部「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」WG 構成案
 - 4-4 コンクリートフォーラム・イン金沢報告
 - 4-5 JCI 四国支部「第4回 フライアッシュコンクリートの耐久性評価委員会」
 - 4-6 WG1 耐塩害性(物質移動抵抗性)評価WG 活動予定
 - 4-7 フライアッシュの利用に関する文献調査資料(応用・実用化技術WG②)
 - 4-8 フライアッシュⅡ種を細骨材の一部に置換したコンクリートの基礎的研究
 - 4-9 フライアッシュを細骨材の外割り使用した時のコンクリートの緒性状の改善効果と実用性について
 - 4-10 普及検討WG③の活動
5. 議 事:
 - (1) 委員長挨拶
上田委員長から, 第4回研究委員会開催にあたっての挨拶があった。
 - (2) 前回議事録の確認
塚越幹事長から, 資料4-1に基づいて, 前回議事録が通読され, また, 普及検討WGにて, 高野委員から橋本委員に変更があったことについて上田委員長より報告があり, 了承された。
 - (3) 2011年度の活動報告とWG 構成案
上田委員長から, 資料4-2に基づいて, 昨年度(平成23年度)での本委員会での活動内容と, 本年度の活動計画に関して説明があった。引き続き, 資料4-3に基づいて, 各WGでの活動内容について確認があった。
 - (4) 話題提供1: コンクリートフォーラム・イン金沢報告 (大場委員)
大場委員より, 資料4-4に基づいて北陸でのFA委員会の活動についての報告があった。
 - (5) 話題提供2: FA・BBコンクリートの耐塩害性評価について(岩原委員)
岩原委員より, 資料4-5に基づいて, これまで行ってきたFA・BBコンクリートを用いた通電による耐塩害性評価試験結果についての報告があった。
 - (6) WG1 耐塩害性(物質移動抵抗性)評価WG 活動予定 (三浦委員)
三浦委員より, 資料4-6に基づいて今後の活動予定として, 文献調査および, 各委員による実験より, FAコンクリートの物質移動抵抗性(CIおよび酸素)に関して, その性能とメカニズム, また, 長期耐久性について検討したいとの報告があった。
 - (7) WG2 実用・応用化技術WG 活動予定 (堀井委員, 横井委員, 原田委員)
堀井委員より, 資料4-7に基づいて今後の活動予定について, FA利用の傾向と有効性を検討するため, 文献調査とデータベースの作成を行いたい。なお, FAの用途が多岐にわたる事から分類法について再考の余地があり検討中であるとの報告があった。
引き続き, 横井委員より, 資料4-8に基づいて, H23年度の活動報告として, 本年度のJSCE全国大会にて講演予定の内容について報告があった。
さらに, 原田委員より, 資料4-9に基づいて, H24年度の活動計画について報告があった。
 - (8) WG3 普及検討WG 活動予定 (橋本委員)
橋本委員より, 資料4-10に基づいて今後の活動予定として, 土木学会四国支部が2003年3月に発刊した「フライアッシュを細骨材補充混和材として用いたコンクリートの施工指針(案)」を, 性能照査型に書き換えを行いたいとの報告があった。
 - (9) 今後の予定
次回委員会は8/22(水)14:00~徳島大学にて開催。また, 各WGにて別途, 活動を予定。詳細についてはWGごとにメール等にて連絡。
報告者:塚越, 以上